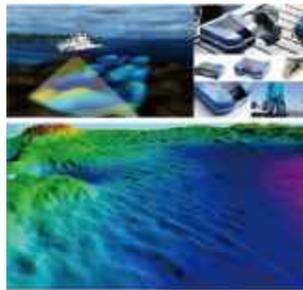


会社概要

会社名	株式会社国際海洋開発
設立	平成 元年 3月
代表取締役	丹 悦夫
有資格者	博士(工学・物理), 測量士, 水路測量技術者 土木管理技師 等
主な業務内容	一般測量(基準点, 水準, 応用, 航空) 3次元点群測量(UAV, USV, TLS), 工事測量(ICT 土工対応) 深浅測量(シングル, マルチ), 潮流調査(ADCP 等), 磁気探査 海図補正測量, 港湾・漁港・海岸における機能保全関連調査
所有機材	音響測深機(シングル;PDR, マルチビーム ;Seabat T-50P) TS, レベル, 1級 GNSS 測量機 小型船舶, サイドスキャンソナー 無人航空機, 無人水上艇(NETIS 登録済) 地中レーダー, 海洋レーダー
保有技術	AutoCAD civil 3D, Trend POINT, 建設 CAD 武蔵 QS-160031-A; 無線遠隔操縦の小型船舶による高精度深浅測量 QS-160047-A; i-Marine システム



事業所



本 社

〒807-0806 北九州市八幡西区御開 3-8-12
TEL: 093-692-0171
FAX: 093-603-2323



静岡研究所

〒424-8610 静岡県静岡市清水区折戸 3-20-1
TEL: 054-334-0411
(東海大学 海洋学部 構内)



Marine Engineering Technology and Services

株式会社国際海洋開発

〒807-0806
北九州市八幡西区御開3丁目8-12
TEL: 093-692-0171 FAX: 093-603-2323

<http://www.ko-marine.com/>



Marine Engineering Technology and Services

株式会社国際海洋開発

Our operations profile



21世紀という時代の節目を迎え、
空間情報分野におきましても新しいニーズへの対応が必要とされています。
空間情報のプロチームが、さまざまな要望にお応えいたします。

“Clarify” the nature of the ocean
～ 海を科学する ～



Our operations



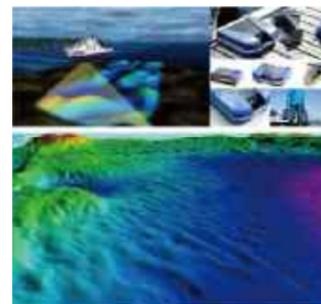
弊社は、1級GNSS測量機を使用したスタティック測量やRTK測量に対応しております。
また、仮想基準局によるVRS-RTK-GPS測量による基準点測量にも対応可能です。

深浅測量事業

海や川の測量で主に船から音響測深器を使用し、水域の深さを測ります。

マルチビーム測深機は、海底地形を面的に捉えることができ、近年の水深測量では利用が激増しています。シングルビームでは把握できない海底の微地形を詳細に記録することができることから、沿岸域・河川や魚礁の分布などの確認が効率的かつ高密度に実施できることが特徴です。

- ▶ シングルビーム深浅測量（1素子，4素子）
- ▶ 海図補正に伴う水路測量
- ▶ マルチビーム深浅測量（Teledyne reson T-50P）



一般測量事業

- ▶ 基準点測量
- ▶ 水準測量
- ▶ 用地測量
- ▶ 応用測量
- ▶ 航空測量
- ▶ 港湾・海岸機能保全計画業務

3次元測量事業



- ▶ UAV（無人航空機）測量
- ▶ TLS測量
- ▶ マルチビーム深浅測量

産・学・官連携事業

「知」の創造と活用を図ることに大きな価値が置かれる「知識社会」の到来により、産・学・官のそれぞれのセクターにおいて産学官連携への動機が高まりつつあります。

大学との共同研究、受託研究など研究面での活動を実施し、機械制御分野・地球物理学分野・環境分野など様々な分野で、新たなイノベーションの構築を目指しています。

また、地域レベルでも、地方公共団体による期待のもとで、活力ある自立した地域づくりのための有力な施策として産・学・官連携活動により、双方の活性化に資するような相互補完的な連携を図っています。

- ▶ 無人水上艇の開発（NETIS登録済）
- ▶ 国立大学法人九州工業大学と共同研究
- ▶ 学校法人東海大学内に静岡研究所を設置

i-Constructionに対応

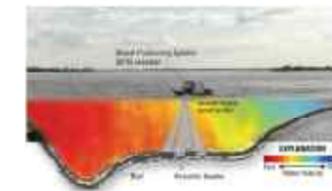
国土交通省では、「ICTの全面的な活用（ICT 土工）」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Construction（アイ・コンストラクション）を進めています。

弊社では、UAV・TLS・マルチビーム測深機によりi-Constructionに対応可能です。

海洋調査事業

ADCP潮流計を利用し、河川・沿岸域等の水の流れを3次的に調査・把握することが可能になります。

超音波を利用することで、海底面の超音波画像を取得したり、懸濁度を知ることができます。



- ▶ 磁気探査
- ▶ 潮流調査（ADCP）
- ▶ サイドスキャン海底探査

